

SDGs宣言書

当財団は「真心で医療と福祉に貢献します」を理念に、地域医療・介護に貢献してまいりました。

今般、国連が定めた「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指して、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

宣言日

2022年4月1日

宣言者

一般財団法人 筑波麓仁会
理事長 藤澤 順一

重点的な取組テーマ	取組内容	関連するゴール
地域医療・介護への貢献	<ul style="list-style-type: none">▶ 地域に密着した質の高い医療・介護を提供し、地域に貢献します▶ 患者様・利用者様を病気から守り、満足・安心・信頼を提供します▶ 地域医療・福祉機関と連携し、地域医療構想に沿った医療提供体制の構築を実現します	    
働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none">▶ ダイバーシティ経営の促進を図り、多様な人材が活躍できる環境を整備します▶ 職員のキャリア形成を支援し、地域医療を担う人材を育成します	   
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none">▶ 省エネ・省資源・3Rを通じて、職員の環境意識の醸成、廃棄物・有害物質の削減に努めます▶ 持続可能な地域社会を目指し、自然資本の保護活動を行います	    



一般財団法人 筑波麗仁会

筑波学園病院／健診センター／介護老人保健施設そよかせ
総合ケアセンターそよかせ／筑波学園看護専門学校／ポプラ保育所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

筑波麓仁会はSDGsと共に、歩んでまいります

SDGsはSustainable Development Goalsの略で「持続可能な開発目標」という意味です。2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択され、2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指し、17のゴールから構成されています。持続可能な開発目標にはそれぞれ相互関係があり、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、私たちが直面する世界的な課題が含まれています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当財団は、24時間365日受入体制の二次救急指定病院である筑波学園病院のほか、健診事業、介護事業、居宅介護支援事業、訪問看護事業、看護専門学校、保育所など幅広く事業を展開しており、2025年に病院創立50周年を迎えます。半世紀の間、基本理念「真心で医療と福祉に貢献します」に基づき一貫した医療・介護サービスの提供を続けてまいりました。しかしながら今般、国内外の社会情勢や日々の暮らしが時々刻々と変化するなかで企業や個人にも一層自然環境への配慮が強まり、同時に人種や性別、年齢、信仰などに囚われない柔軟な多様性が求められております。

当財団としても医療・介護分野を通じてSDGsに賛同し、環境や教育などへの取組も積極的に行い地域社会に貢献してまいります。

一般財団法人筑波麓仁会 理事長 藤澤 順一



一般財団法人
筑波麓仁会

私たちは、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます

みんなのために



地域に密着した医療・介護の提供

ワクチン接種の推進

健康づくりや予防医療の推進

救急医療提供体制の構築

新興感染症への取組強化

高度医療や専門医療の提供

地域の医療、福祉、介護連携の強化

医療、福祉、介護の患者サポート体制の充実

地域に向けた情報発信と公開講座の開催

地域医療構想の実現に向けた取組強化

患者さんと利用者さんの個人情報やプライバシーの保護

多種多様な患者さん、利用者さんの積極受け入れ

在宅復帰支援の強化

接遇サービスの強化

高齢者やからだの不自由な方に配慮した設備整備

スーパーシティ／スマートシティへの参画

ICT／IOT化の推進

オンライン資格確認、顔認証システムの導入

問診票の電子化による患者さんの負担軽減

私たちは、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます

 なかまのために

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



ダイバーシティ経営の確立

優秀な人材の育成

接遇教育の実施

就学資金制度の整備

高度医療に適応できる人材教育

基幹型・協力型の臨床研修医療機関

学会に求められる認定医療機関

医療・介護分野に係る実習生の受け入れ

看護学生の為のジェンダー教育、生活習慣病の教育と指導

安心安全な保育の提供

職員のキャリア形成の支援

救急救命講習の実施

ジェンダーに配慮した労務環境の提供

医療・福祉・介護従事者の働き方改革への対応

ワークライフバランスの推進

多種多様な人材雇用の推進

職員の福利厚生の実施

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



一般財団法人
筑波麗仁会

私たちは、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます

未来のために



6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

地下水を利用した災害時の持続可能で安全な水の提供
非常用発電機による安定したエネルギー供給
蒸気式空調エネルギーからヒートポンプ式空調エネルギーへ
LED 照明計画の遂行
自家消費型太陽光発電の推進
医療材料／消耗品、医薬品、又は医療廃棄物の安全な廃棄処理
非常時に備えた食糧の備蓄
メニュー改善を重ねた入院／入所食のフードロス削減
職員食オーダーシステムによるフードロス削減
太陽光発電、再生可能エネルギーの活用によるCO2の削減
BCP【事業継続計画】の運用強化
災害訓練の実施
敷地内緑化の推進と環境保全の取組強化
敷地内禁煙の徹底